

委員会提出議案第1号

議会評価意見書の提出について

上記の議案を、小松島市議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出します。

令和6年9月27日

小松島市議会議長 安 平 剛 之 殿

提出者 予算決算常任委員会
委員長 南 部 透

令和5年度事務事業
議会評価意見書

小松島市議会

議会評価報告書①

事業名	18 まち・ひと・しごと総合戦略事業
議会評価	改善・効率化して継続
<p>【評価説明】</p> <p>出会い・結婚・出産・子育て・住まいまでの切れ目のない支援、デジタルスキルの習得を目指したリスキリング研修、企業版ふるさと納税など、地域創生のために必要性の高い事業であるが、広く知られていないため、これまで以上に周知に努めるべきである。費用対効果を改善しながら、子育て世代の転出超過を防ぎつつ、多様な働き方につながるよう支援し地方創生に取り組むことが求められる。</p> <p>さらに、支援やセミナーを受けた方がどのように本事業を活用しているか、アンケート等を通じ今後につなげていくことを期待したい。</p> <p>本計画は改定時期を迎えているため事業を再検証し、総合計画と整合性を持たせ、よりブラッシュアップさせ課題解決に向けた取組が必要である。</p>	

議会評価報告書②

事業名	75 地域公共交通活性化事業
議会評価	改善・効率化して継続
<p>【評価説明】</p> <p>利用者にデマンドタクシー実証実験についてのアンケートを行った結果、予約の煩わしさや目的地での時間の制約など、活用内容の周知が課題となった。公共交通活性化のためには、高齢者以外の若い世代への乗車促進を図るため、バス路線でのサイクル&バスライドなどの実証実験を取り入れるなど他の取組も含め、新たなモビリティの在り方を検討していくべきである。</p> <p>南小松島駅トイレの設計委託後、スピーディーな設置の実現を目指す。待合環境の改善も図り、南小松島駅が安全でにぎわいの拠点となるようJRとの協議を引き続き進めてほしい。</p>	

議会評価報告書③

事業名	115 不妊・不育症治療費等助成事業
議会評価	現状のまま継続
<p>【評価説明】</p> <p>本事業は、出産を望む夫婦の経済的負担を軽減する施策として効果的であり、本市の少子化対策の一助にもなっている。</p> <p>今後においては、晩婚化等の要因で利用者の増加が予測されるため、ニーズ調査や、医療機関等関係機関との連携、助成金額の精査、予算の確保等に加え、事業の周知が求められる。</p> <p>また、費用の助成だけではなく、心のケアに関する専門的なカウンセリング等について、事業内容を広げることを望む意見もある。</p>	

議会評価報告書④

事業名	116 母子健康包括支援センター運営等事業
議会評価	現状のまま継続
<p>【評価説明】</p> <p>助産師等による妊産婦への電話、オンライン、アプリ等様々な手段による相談・支援体制が構築できていることは他市との比較においても充実しており、評価できる。</p> <p>育児困難等のトラブルが増加しているとの報告もあるが、専門職だけで問題解決を目指すのではなく、地域での交流や情報交換等でカバーできることもあるので、多様な解決策を検討することも必要である。</p> <p>妊産婦が孤独な環境に置かれたままではなく、妊娠中から産後まで切れ目なく寄り添う本事業は今後も継続する必要がある。</p>	

議会評価報告書⑤

事業名	346 認知症施策推進事業
議会評価	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>今後、高齢者が増えていく中、認知症の方も増えていくことが予想される。</p> <p>認知症サポーターの数を充実させ、本人とその家族が自分らしく生活できるよう、幅広い世代の方に認知症の理解を深め、認知症のサポートや研修を充実させていく必要がある。</p> <p>認知症の方の家族にもニーズ調査を行い、より有効な施策の検討やサポート支援体制をつくっていかなければならない。</p>	

議会評価報告書⑥

事業名	188 水稲農家と子どもたちのための地産地消推進事業
議会評価	完了
<p>【評価説明】</p> <p>本事業は令和5年度で完了した。単発の事業としては一定の効果があったものの、継続的な施策としては限界があり市民から継続を求める声もあったが、無料配布が長期的な市産米の消費拡大や農家の経営安定に結びつくとは考えにくい。</p> <p>今後は、水稲農家に対し総合的な支援を持続的に行い、地産地消を通じた食育の推進を目指し、農家との対話を重ねた上で、より効果的な支援策を検討すべきである。また、物価高騰など社会情勢の変化を踏まえ、子育て世代や農家への支援内容の見直しが求められる。</p>	

議会評価報告書⑦

事業名	201 観光・イベント振興事業
議会評価	現状のまま継続
<p>【評価説明】</p> <p>港を中心とした観光振興や、みなとマルシェ、大型クルーズ船の寄港、特産品の販売促進などの施策は評価に値するが、さらなる発展のためには、いくつかの課題が残されている。</p> <p>特に観光イベントや特産品のブランディングを行うにあたり、ターゲットをより明確にし、他市町と差別化できるような「小松島ならではの観光コンテンツを開発し、体験型・周遊型プランの充実を図ることで、長期滞在を促し、地域経済への波及効果を高めることが重要である。また、関係団体との連携強化や、大阪・関西万博を見据えた広域的な観光PRも必要である。さらに、観光需要の変化や新たなニーズに柔軟に対応する施策が求められる。</p> <p>なお、各種補助金や負担金などについて、効果の検証を求める声がある。</p>	

議会評価報告書⑧

事業名	233 民間建築物防災事業
議会評価	拡充
<p>【評価説明】</p> <p>南海トラフ巨大地震の発生が懸念されていることから、事業の申請件数が年々増加しており、予算の拡充が必要である。大規模な地震が発生した際、建物耐震化の有無により、被害を免れることが多いことから、本事業は拡充すべきである。</p> <p>しかし、自己負担金が必要となることから、耐震診断から改修につながる件数が少ない。自己負担軽減を図り、各種補助事業の活用も含め本事業の利用を促進していく必要がある。また、市民からの申請を待つのではなく、事業の周知徹底を図り、改修までつながるよう専門的なサポートを提供しなければならない。</p>	

議会評価報告書⑨

事業名	257 AIドリル導入推進事業
議会評価	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>AIドリルの導入により、児童生徒に最適な学びが提供され、基礎学力向上や教員の働き方改革につながった。一方、Wi-Fi環境の不備やタブレット依存、視力低下などへの対応が課題として挙げられる。今後は、効果と課題の検証を行い、子どもたちのタブレットの受動的な利用を防ぎつつ、よりよいソフトを導入するなどさらなる主体的な活用が求められる。</p> <p>また生徒の思考力を伸ばすために、AIと従来型教育のバランスが大切という意見もあった。</p>	